

モリ券と木の駅プロジェクトについて

第12回新聞発表

魚切建輝
川崎友生
谷合達彦
見浪哲史

愛知県豊田市——間伐材で地域通貨流通（わき出す地域パワー）

2013/05/13 日経MJ（流通新聞）

愛知県豊田市で未利用の間伐材を地域通貨で買い取る「木の駅プロジェクト」が進んでいる。合言葉は「チェーンソーと軽4（トラック）で晩酌を」。間伐材を持ち込むと地域通貨が支払われ、商店街の買い物に利用できる。徐々に参加者も増え、プロジェクトは軌道に乗りつつある。

「支払いは『モリ券』で頼むよ」——。周囲を険しい山々に囲まれた豊田市の旭地区。人口3000人ほどの同地区を訪れると、食料品や美容室の代金を“紙切れ”で支払う光景が目に入る。

木の駅プロジェクトが始まったのは2011年。荒廃した地域の森林と経済の再生が目的だ。同地区に住む高山治朗さんは「国産材が売れなくなると山には放置された間伐材が目立つようになった。プロジェクトの立ち上げは山林整備のいいきっかけになっている」と笑顔で話す。

事業の仕組みはこうだ。

地区内に設置した4カ所の「木の駅」に間伐材を持ち込むと、プロジェクトの実行委員会が1トンあたり6000円の地域通貨「モリ券」を支払う。間伐材はチップ製造会社「名古屋港木材倉庫」（名古屋市）が3000円で買い取り、残りを実行委員のメンバーである豊田市などが負担。モリ券は11月～翌5月の間、実行委員会と契約している地区内33の店で現金代わりに使うことができる。

一般的に、間伐材は長さ3メートル以上ないと市場で売ることができないが、木の駅は長さ50センチ、直径5センチと市場に出せないような規格外品も扱う。「山の整備にかかる費用が無駄にならない。森づくりの意欲がわく」と高山さん。間伐材を木の駅まで運搬する軽4トラックと木を切断するチェーンソーさえあれば、林業をなりわいにしない山主でもお小遣い稼ぎ感覚で取り組むことができる。

モリ券は都市部の大型スーパーでなく、地域の商店でしか使えないため、地元にお金を落とす動機づけにもなる。旭地区で美容室を経営する女性は「以前は来なかった人が来店するようになった」と喜ぶ。

11年に実験的に始まった取り組みは徐々に広がり、実行委員会と契約する商店は11年の19店から33店に、間伐材を木の駅におさめる「出荷者」は2倍以上の54人に増えた。モリ券の発行額も年々増え、12年11月～13年3月までで180万円のモリ券が流通した。

ただ、課題も残る。現状、間伐材1トンの買い取り価格のうち、実行委員会が負担する3000円の大半を豊田市の補助金で穴埋めしている。市は、地域住民の意見を市の施策に反映する「地域予算提案事業」として同プロジェクトに予算付けしているものの、15年度以降については白紙。持続可能な事業とするためには、行政に頼らないシステムの構築が不可欠だ。

対策として実行委員会は、現在はパルプの原料として売り出している間伐材を、ボイラーやストーブ専用の薪（まき）材として活用する道を模索、販路の拡大で販売価格の引き上げを狙う。豊田市も「焼却所の燃料材として活用できないか検討する」（旭支所の天野正直支所長）と資金面以外での支援策を探る。

高山さんは「以前は住人が集まった時の話題といえば病気の話ばかり。木の伐採方法などプロジェクトに関する話題が最近では増えた」と地域の変化を実感する。

林業の再興と地域経済の再生、木の駅プロジェクトは過疎の地域を救う起爆剤となる可能性を秘めている。

（名古屋支社
上林由宇太）

記事要約

- 愛知県豊田市の旭地区で間伐材を地域通貨で買い取る「木の駅プロジェクト」がすすんでいる
- このとりくみは地域振興や山林整備に役立っている
- 間伐材の買い取り価格の大半を補助金が負担しているのが課題

豊田市旭地区とは

- 豊田市市街地から車でおよそ一時間
- 人口はおよそ三万人
- 山や川、高原があり自然が多い
- 水の郷としてアピールをされていて、筏流しの集積場としての歴史的背景を持つ林業、製材業、温泉を中心とした観光業、ヤナ漁を始めとする漁業など、主要産業は川に依存している

対象地区



http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ad00/ad06/1239251_7068.html

プロジェクト概要

- ❑ 旭地域内の林地に放置された間伐材等を搬出し、資源として活用することにより、森林所有者の森づくりへの意欲向上と森林再生を図る。
- ❑ また、木材の対価として、地域通貨（モリ券）を導入することにより、地域経済の活性化を図る。

http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ad00/ad06/1239251_7068.html



プロジェクト概要

【事業概要】

- 1出荷者(森林所有者等)の募集と登録
- 2モリ券(地域通貨)取扱店の募集と登録
- 3集材場所(木の駅)用地の確保
- 4出荷材の管理・販売
- 5モリ券(地域通貨)の発行・管理
- 6事業の庶務会計事務

【事業主体】

旭木の駅プロジェクト実行委員会、森林所有者、
商工会関係者、NPO、豊田市旭支所 など

実績

- 木材買い取り代金は1t（軽トラ2台）当たり
6,000 円
- 財源は3,000円はチップ業者（後に説明します）への販売代金、残りは各団体からの寄付や補助金でまかなう
- 平成23(2011)年度はの実績は、出荷材積は 308トン、モリ券発行額は約118万円分

<http://house.chunichi.co.jp/estate/detail.php?id=2770&ts=1350791098>



森が元気に
人が元気に

～ 木の駅プロジェクトイメージ ～

地球温暖化
STOP

都志交流間伐

＊まちの人もモリ券の輪へ

搬出

出荷

50cm～
210cm

伐採

＊間伐助成金制度
を利用しましょう

指導・機械貸出



木の駅

決められた場所
に検尺して置く

材を寄付

志～材

連絡

まず事務局に
電話を！

登録(木の駅セット)

問い合わせ

木の駅
実行委員会

志援

＊募金・寄付
「木の駅志金」
＊企業CSR
＊森林環境税

支援



売上

＊チップ工場
＊バイオマス燃料
＊木質ボイラー
＊木質発電 など

現金

モリ券

商店

町も人も元気に！



交換

伝票に記入し
て、モリ券に
交換する

モリ券



地域の
お店



プロジェクトのデータ

登録者数：

53人

出荷量：

年300t

登録商店：

31店舗

販売先：

名古屋港木材
倉庫

販売価格：

3000円/t

利用方法：

チップ(燃料、
原料チップ)

旭地区の例

http://kinoeki.org/modules/waffle0/index.php?t_m=ddcommon_view&t_dd=waffle0_data5&id=3

より参照

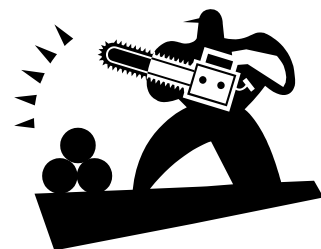
プロジェクトの特徴

□ 副業としての森林管理

→ ・ 「チェーンソーと軽トラで晩酌を」

・ お小遣い程度

・ 効率を追うものでもない



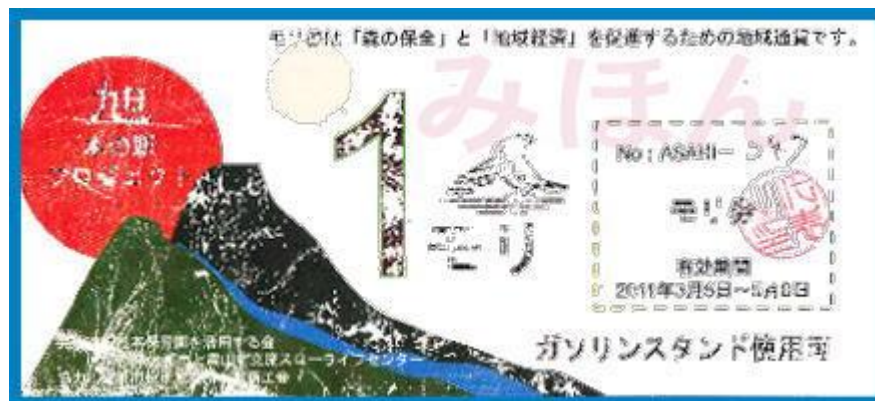
□ 規格外商品も扱う

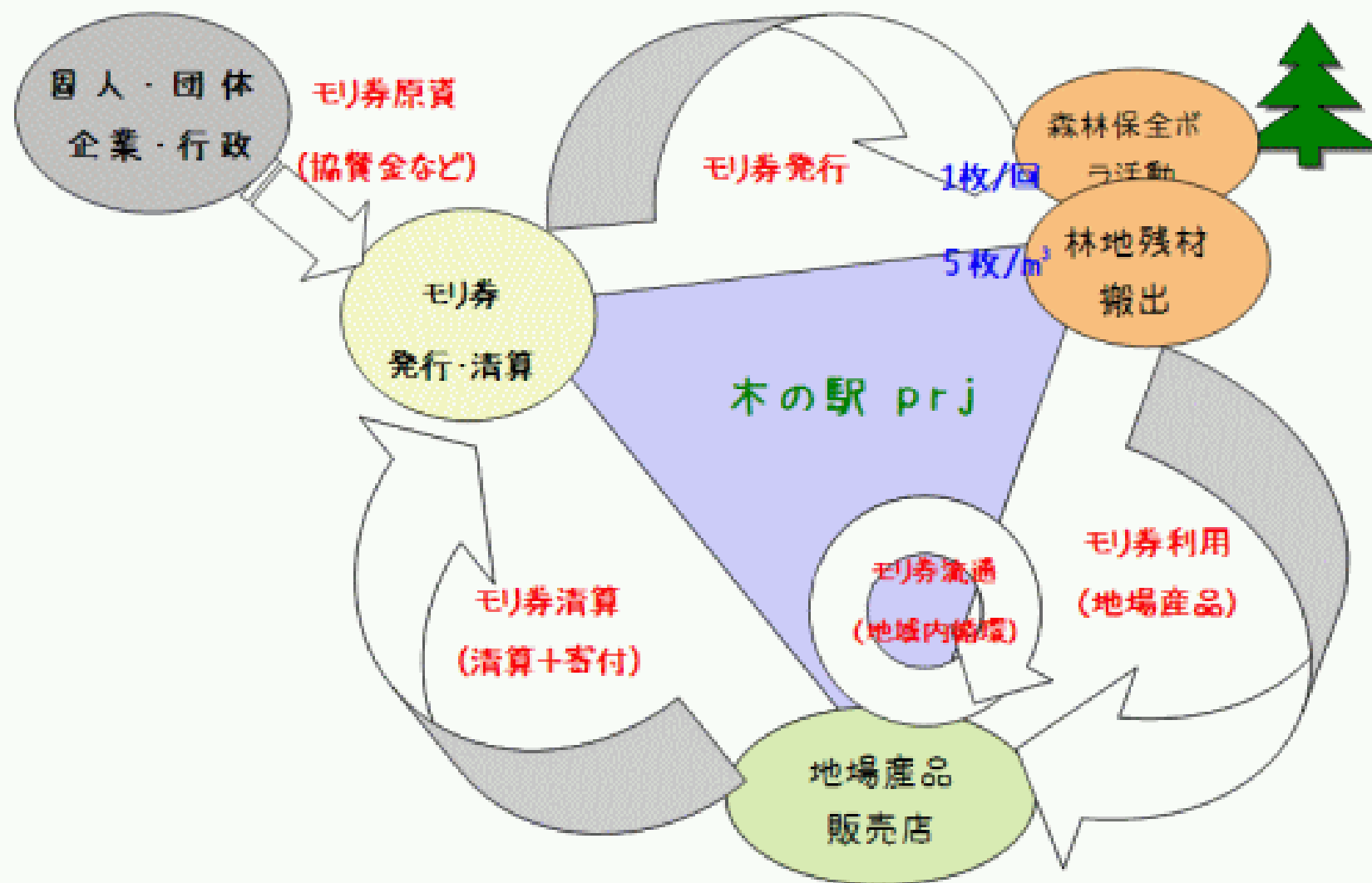
□ 地域通貨を使用することによる地域活性化

□ 愛知県豊田市旭地区だけでなく、様々な地域で行われている事業であり、他の地域への応用も可能

モリ券とは？

- 木の駅プロジェクトにおいて間伐材の対価として支払われる地域通貨
- 1モリ=1000円以下(おつりは不可)
- 現金との引き換えも不可
- 地域内の登録している店舗において使用可能





問題意識・今後の課題

- モリ券のさらなる普及、利用者層の拡大
- 販路の拡大
- プロジェクトの実行委員会の費用のほとんどが市の補助金頼み

対策①

- ❑ 現在の登録者数は54名と全体(750戸)の山主の一部に限る
- ❑ 一般の人たちが実行するには困難

⇒ さらなる普及・利用者層の拡大が必要か

登録者数・利用者層の拡大

登録者数が一部のみにになっている理由として...

- 間伐、搬出の方法がわからない
- 理解度が低い

軽トラ、ある程度の技術を要するため、一般の人々が参加できる機会がない



定期的な間伐・搬出に関する講習や一般の人・観光客でも参加できる森林ボランティアの開催

NPO土佐の森林救援隊の例

- 木の駅プロジェクトの元となっている団体・プロジェクト
- 森林ボランティアの参加者に対価としてモリ券が支払われる
- 参加者は道の駅などで地元産品をモリ券で買うことができる

<http://mori100s.exblog.jp/i24/>



対策②

間伐材の用途が少ない
⇒ 現在の用途はパルプの原料

薪ボイラーを導入する！

<http://www.google.co.jp/search?q=%>



薪ボイラーの導入

- 山梨県や長野県の温泉地で導入されている
- 化石燃料のボイラーと比較すると燃料費が格段に安い（福島県鮫川村の村民保養施設では月50万のコストダウンが実現）
- 薪は地元山林の間伐材を使用するため地域活性化も期待できる
- デメリット：設置費用が約1000万

岐阜県恵那市山岡町の例

- 「花白の湯」で2011年11月より導入
- 軽トラ1杯分の薪を持ちこむと入浴券や食事券と引き換え
- 常連客が何人もできた



<http://www.sankeibiz.jp/econome/news/130303/ecc13030>

対策③

**プロジェクトの参加者
(出荷者と商店)
から徴収**

**⇒助成金なしでこのプロジェ
クトをやっていくにはいくら
にするべきか**

▪ 助成金 54万円/年(平成24年度)

(豊田市

HP<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ad00/ad06/1253690/02shiryo.pdf>より)

▪ 出荷者 54人

▪ 商店 31店舗

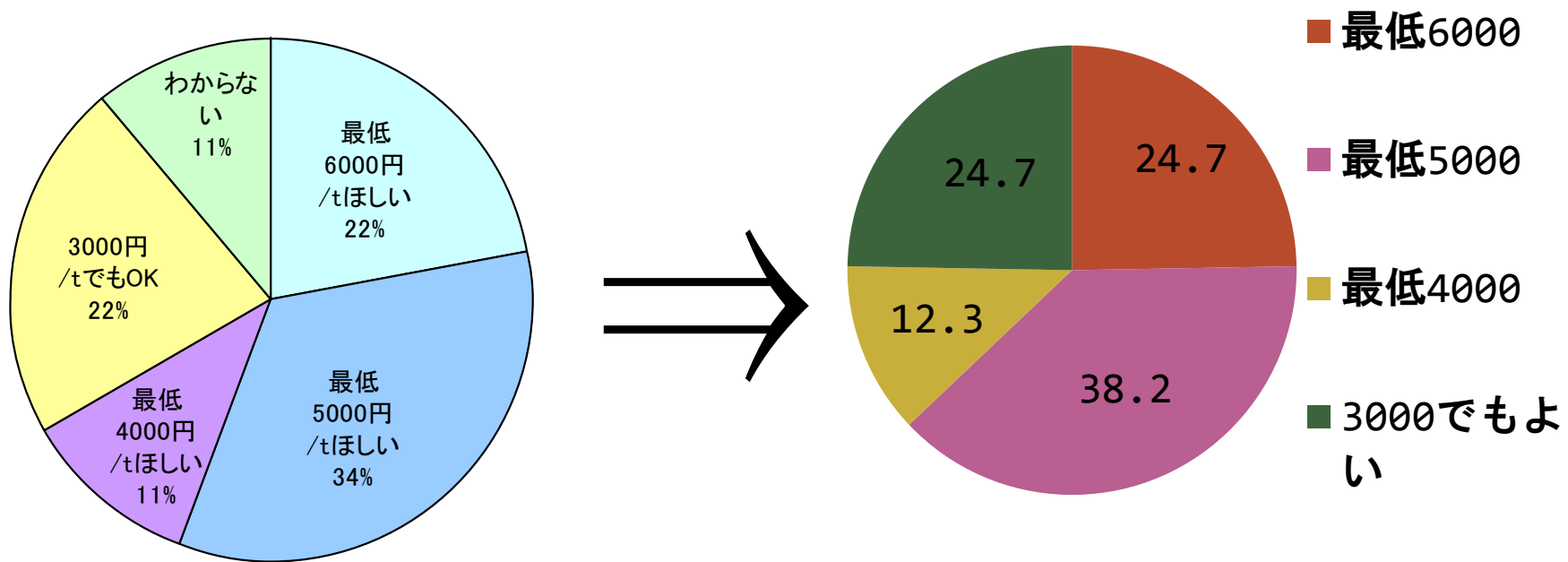
▪ 出荷材積 約308トン

(一人当たり約5.7トン)

▪ モリ券発券数 約180万円分

(一人当たり約3.3万円)

出荷者



岐阜県恵那市中野方町(人口1,800人、世帯数500戸)における社会実験における
出荷者への取引価格に対するアンケート結果
(www.jsrsai.jp/Annual_Meeting/PROG_47/.../rA07-4%20Niwa.doc)

①出荷者の徴収額を1000円にすると.....

取引額6000円のうち1000円をプロジェクト維持のための経費として徴収する

出荷者の24.7パーセントはこのプロジェクトに参加しなくなるので、

- ・ 出荷者は

$$54人 \times (1 - 0.247) = 40.662人$$

- ・ 出荷材積は

$$308万 \times (1 - 0.247) = 231.924トン$$

- ・ モリ券発行額は

$$180万 \times (1 - 0.247) = 135.54万円$$

商店からモリ券による売り上げの2割を徴収すると、

$$135.54万円 \times 0.2 = 271080円$$

となり徴収額の合計は

$$231.924トン \times 1000円 + 135.54万円 \times 0.2 = 503004円$$

②出荷者の徴収額を2000円にすると.....

取引額6000円のうち2000円をプロジェクト維持のための経費として徴収する

出荷者の62.9パーセントはこのプロジェクトに参加しなくなるので、

・ 出荷者は

$$54人 \times (1 - 0.629) = 20.034人$$

・ 出荷材積は

$$308万円 \times (1 - 0.629) = 114.268トン$$

・ モリ券発行額は

$$180万円 \times (1 - 0.629) = 66.78万円$$

商店からモリ券による売り上げの2割を徴収すると、

$$66.78万円 \times 0.2 = 133560円$$

となり、徴収額の合計は

$$114.268トン \times 2000円 + 66.78万円 \times 0.2 = 362096円$$

③出荷者の徴収額を3000円にすると.....

取引額6000円のうち3000円をプロジェクト維持のための経費として徴収する

出荷者の75.2パーセントはこのプロジェクトに参加しなくなるので、

・ 出荷者は

$$54 \times (1 - 0.752) = 13.392 \text{人}$$

・ 出荷材積は

$$308 \times (1 - 0.752) = 76.384 \text{トン}$$

・ モリ券発行額は

$$180 \times (1 - 0.752) = 44.64 \text{万円}$$

商店からモリ券による売り上げの2割を徴収すると、

$$44.64 \text{万円} \times 0.2 = 89280 \text{円}$$

となり、徴収額の合計は

$$76.384 \times 3000 + 44.64 \text{万円} \times 0.2 = 318432 \text{円}$$

徴収額

徴収1000円→503004円

徴収2000円→362096円

徴収3000円→318432円

⇒1000円の徴収をするのが最も良い

まとめ・今後の展望

現状においては寄付に頼らず
に行っていくことは難しいか
もしれない

しかし！出荷者が増え、出荷
材積が増えていけば助成金に
頼らずに事業を行っていきこ
とができるはずである！

参考文献

木の駅プロジェクト

(http://kinoeki.org/modules/pico3/index.php?content_id=15)

http://kinoeki.org/modules/waffle0/index.php?t_m=ddcommon_view&t_dd=waffle0_data5&id=3

<http://kinoeki.org/modules/myalbum1/photo.php?lid=149>

<http://mori100s.exblog.jp/i24/>

<http://www.google.co.jp/search?q=%>

豊田市ホームページ

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ad00/ad06/1253690/02shiryo.pdf>

流域内フェアトレードに向けた山村集落での社会実験についての報告

(www.jsrsai.jp/Annual_Meeting/PROG_47/.../rA07-4%20Niwa.doc)